



# 令和5年度 第1回地域ケア圏域会議 ～地域共生社会を目指して～



日時:令和6年1月31日(水曜日)15時～16時30分

主催:きせがわ地域包括支援センター 場所:きせがわ病院5階会議室

参加者:大岡連合会長・大岡地区社協・大岡民児協・各介護施設・薬剤師等

参加人数:33名

個別会議から見えてきた地域課題において、認知症の人や家族を地域で支えるために、**地域資源(関係機関・団体・関係者)の間で問題意識を共有する目的**でおこなわれ、6グループで話し合い、それぞれの立場の意見を出し、解決方法を話し合い、グループごとに発表しました。

- ① 課題の発見・整理と共有
- ② 地域住民による支援
- ③ 認知症高齢者に関する啓発活動
- ④ 国保病院による医療面のサポート
- ⑤ 本人・家族の支援
- ⑥ 地域の状況と課題に向き合う事が地域医療
- ⑦ QRコードやヘルプカードの活用



～第1回地域ケア圏域風景～

きせがわ包括支援センターでは、令和5年度相談状況(令和5年12月現在)**原因疾患相談・266件あり認知症は49件**であるとのこと。

【認知症の見守り】とは？

認知症の方の見守りでは、**認知症の方に付き添いながら適宜声かけを行います。いつでもサポートできるような態勢でいることが大切です。**「見守り」は、熟視する、疑視するなどの意味もありますが、認知症介護での見守りは行動の制限が目的ではありません。認知症の方の場合、理解力や判断力の低下から日常生活に多くの危険がともないます。また認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲手助けしましょう。また、大岡では「認知症サポーター」を養成し、認知症高齢者等にやさしい地域づくりに取り組んでいます。